

## ■キュウリのずらし栽培をしましょう。

キュウリには病気がつきものです。必ず病気になってしまうものと考えて、ずらし栽培（6月～7月播種）をするのも1つの方法です。

キュウリには病気がつきものです。今年のように乾燥した年には「うどんこ病」、雨が多い年には「べと病」が発生しやすくなります。病気になると株が弱り、実付きが悪くなったり、曲がったキュウリになったりします。

病気にならないように予防対策をすることが大切ですが、完全に防ぐのは困難です。

そこで、“キュウリは病気になってしまうもの”と気持ちを切りかえて、別の場所に時期をずらして新しい種をまいておくのも1つの方法です。

育苗栽培も可能ですが、この時期は暑いため、直まき栽培をオススメします。

株間40cm程度に2～3粒播きし、本葉3～4枚までに1本立ちにします。

病気に感染したキュウリの隣にまくと、新しい株にも感染しやすいので、少し離れた場所にまく方がよいでしょう。

### 【キュウリによく出る病気】



べと病



うどんこ病

### 【病気の予防】

- 敷きワラなどを株元に敷き、泥の跳ねかえりを防ぐとともに、乾燥を防止する。
- 整枝を行い、余分な葉を整理して風通しをよくする。
- 定期的に追肥を行い、樹勢を維持する。
- ダコニール1000やZボルドーなどの予防剤を散布する。

峡南農務事務所 農業農村支援課  
(峡南地域普及センター) 生産振興担当

055-240-4131